

# 環境への取り組み

- 中間処理施設は「焼却方式」を選択
- 生ごみ個別処理の支援を拡大
- プラスチック製容器包装の全市分別収集を 12 月から実施



問合せ先

市廃棄物対策課  
市新処分場建設準備室

市は、市民の皆さんと一緒に環境行政「岩見沢モデル」を作り上げていくため、7月30日から8月7日まで、市内の9会場で590人の市民の皆さんに参加をいただき、市民説明会を開催するとともに、市内全世帯を対象としてアンケート調査を実施しました。

皆さんからいただいた回答や意見などは、これからの環境行政を進める中で活用していきます。

ご説明します

**市民説明会**

たくさんのお意見や質問をいただきました

現在のごみ分別や処理の状況のほか、これからのごみ処理方法について

て、これまで検討した内容をスライドやビデオを使い説明しました。

そして、参加した市民の皆さんのうち104人の方々から、貴重な意見や質問をいただきました。

内容で分類すると、「堆肥化・資源化」に関する意見が35件、「行政」が32件、「焼却等の中間処理」が25件、「減量・分別・収集」が25件でした。これらの主な質問と回答の要旨は次のとおりです。

### 生ごみの堆肥化に関するもの

●なぜ生ごみ堆肥化をしないのか。家庭、事業所、公共施設など個別に行う自家処理を推進する。全市一斉の実施は次のことから困難と判断しました。

- 堆肥化と焼却系の複数施設を建設することによる整備・維持管理費用の増加
- 分別区分の増加による負担増
- 収集費用の増加
- 堆肥の品質と分別の精度
- 堆肥年間2千300tの受入先確保
- 堆肥の保管場所

●堆肥の受入れについて農業団体に聞いたのか。  
生ごみ堆肥は塩分など品質の安定性の確保が必要で、いわみざわ農協からは難しいと伺っている。

### ごみ減量化・分別徹底に関するもの

●町会未加入者への分別啓発の方法。町会(自治会)に加入の強制はできないが、市で加入促進をPRしているほか、宅地建物取引協会と町連が連携して勧誘している。また、市職員が分別等の啓発を行う。

●事業者のごみがごみステーションに混入。事業系の分別と排出は重点的に指導するとともに、事業所と許可業者にも資源ごみの分別の指導を強化する。

### 岩見沢モデルに関するもの

●岩見沢モデルとは何か。市民の皆さんとこれから作り上げていくものであり、基本コンセプトは次の通りです。

- 市民と行政の協働
- 環境教育
- コストの最大限の圧縮
- 持続可能な住環境づくり

### 有料化に関するもの

●ごみ有料化がごみの減量に有効とすることだが、検討会議での議論は。

ごみの量は全体として変わらないが、有料化するとすれば、資源物は無料に、その他のごみを有料とすることで、資源ごみの分別を促進できる。

●有料化すると減量になると思うのか。

有料化の前に大型ごみなどの駆け込み排出の可能性はあるが、有料化により資源ごみの分別が進むことで、他のごみの減量化につながると思われる。なお、有料化の検討は、今後各地域で開催するごみのよりよい始末を進める井戸端会議で議論していきたい。

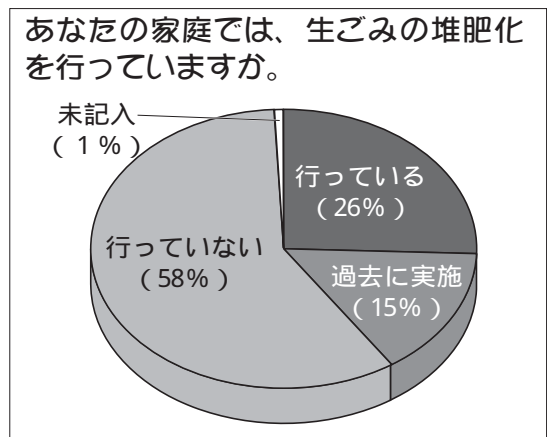


### アンケート調査

市内の4分の1の世帯から回答をいただきました

環境への取り組みに関する資料と一緒に市内全世帯に送付し、8月末までに1万863件の回答をいただきました。回収率は25・7%で、市内の約4分の1の世帯から回答をいただきました。

また、回答していただいた方の約半数、5千7人の市民の皆さんに意見を記入していただきました。アンケート調査の主な結果と、それに対する市の考え方は次のとおり



です。

Q. あなたの家庭では、生ごみの堆肥化を行っていますか。

A. 結果は、右のグラフの通りです。

現時点で全市一斉の生ごみ収集・堆肥化は実施しませんが、各家庭や事業所、公共施設などでの生ごみの堆肥化は、支援制度を拡充し推進していきます。家庭、事業所の生ごみ処理機購入助成事業のほか、新たに家庭での電動式生ごみ処理機購入助成事業を創設する予定です。

生ごみ堆肥化によるごみの減量化に、ご協力をお願いします。

Q. 「岩見沢モデル」では、環境教育の一環として、学校給食調理所での堆肥化を考えていますが、この

他にどのような取り組みを行ったら良いと思いますか。(自由意見なので原文のまま掲載していません)

札幌の小学校に勤務しています。給食の残りでできた堆肥を使って作られたレタスを使ったチャールハンなど、「フードリサイクル」を給食指導で行なっています。食べ残しは少なくなっただよりに思います。子どものころから経験していると、大人になってからも積極的にやってみようという人が増えると思う。また、子どもが学校で経験すると家でもやってみようとする家庭が増えるので良いと思う。(30歳代女性)

ごみ処理場の見学。なぜ分別が必要なのか、どれだけのコストが必要なのか、実態を見ることによつて、取り組む姿勢、気持ちが変わってくるので。(未記入)

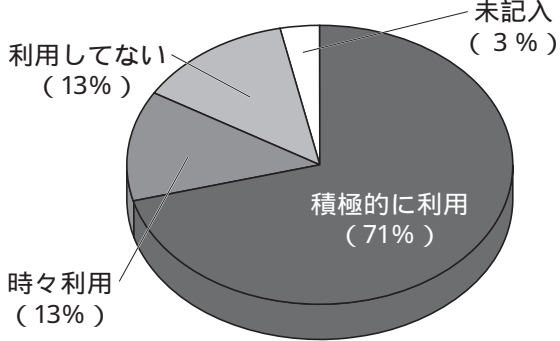
環境教育というと、子どもたちの教育と考えがちですが、子どもは大人の姿から学んでいます。まず、分別に無関心、ごみ収集のルールを守らない大人を減らすことを徹底してほしいです。その為には、曜日を守らないごみは収集しないと、町内会で管理を徹底するよう市から指導するとか対策

を強化してほしいです。(40歳代女性)

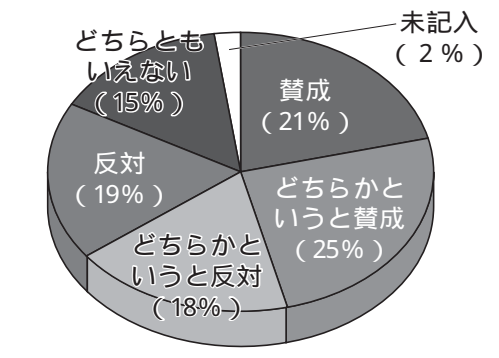
堆肥にする生ごみの量、そこから出来た堆肥の量、そこに発生したコストなどを発表し、生ごみの堆肥化の意義について教える。給食(食事)をしっかり食べる、食べさせることを意識することで必要な栄養の補給と生ごみの減少を促す、食育との連動。(20歳代性別未記入)

学校給食の調理所は、小・中学校から離れているので、年に一度見学をさせ、自分たちも食べ残しを減らすよう意識させたらよい。あるいは堆肥を学校の畑や花壇に搬入し、その土で野菜や花を育てさ

あなたの家庭では、ごみの資源集団回収を利用していますか。



ごみの有料化について、あなたはどのように思いますか。



Q. あなたの家庭では、ごみの資源集団回収を利用していますか。

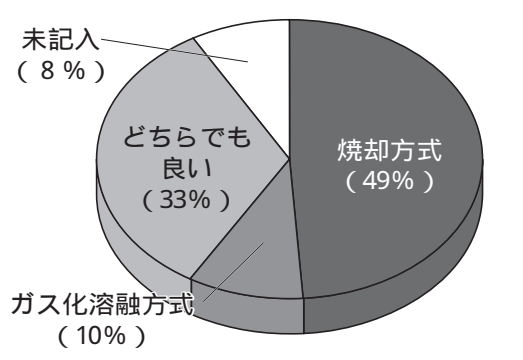
A. 結果は、上のグラフの通りです。

新聞や雑誌などのリサイクルは、たくさんの方の皆さんの皆さんが町会(自治会)や子ども会を中心に行っている資源集団回収を利用しています。

Q. ごみの有料化について、あなたはどのように思いますか。

A. 結果は、右のグラフの通りです。

あなたは、焼却系処理の方法としてどちらの方式が良いと思いますか。



Q. あなたは、焼却系処理の方法としてどちらの方式が良いと思いますか。(焼却とガス化溶融)

A. 結果は、左のグラフの通りです。焼却方式が49%で、最も多くなっています。



Q. 今後の岩見沢の環境行政のあり方についてご意見をお聞かせください。(自由意見なので原文のまま掲載しています)

【岩見沢モデル】

岩見沢モデルの基本理念は何か。自然と共生する形での環境行政を進めるべきである。従って、分別、リサイクル、堆肥化を基本にすべきだ。(50歳代女性)

「岩見沢モデル」の考え方、イメージは理解する。ごみ問題については、長い時間が必要である。いろいろありますが、まずは分別と有料化の基本的な考え方について、住民への説得が必要。現状、モラルのない住民が、まだ多くいるということを、町内会を通じて理解を得る。市が悪者になって、説得する覚悟が必要。未来の子どもを考えるのであれば、小学校から徹底した環境教育と実践をしていくべき。それを家庭につなげることにより、その子どもが大きくなった時、考えると思っている。(60歳代性別未記入)

【新しい処理方式】

全国的にも8〜9割が焼却方式と伺っております。また、溶融方式は、トラブルが多い。堆肥化は、

不純物が問題であり、私は焼却系処理が最善と思います。(30歳代女性)

生ごみは堆肥化する。燃えるものは焼く方法。(70歳代男性)

【減量化・資源化】

プラ製品を分別したところ、燃えないごみの量が、大変減ることを実感しました。これからもずっと実行します。(60歳代女性)

ごみ減量化の取り組みの徹底強化。資源ごみの回収は、企業、各事業所等の分別の指導強化が必要(行政、各町会、事業所等を通して)。堆肥化された用土の利用について、市内にある公園等での利用、農業の街なので、活用を考える等。(70歳代女性)

【生ごみ・堆肥化】

堆肥化容器を設置するとしても、ご近所との関係があり、なかなか実行に移せない。早く電動式生ごみ処理機の助成が実現して、家庭の負担が少なく購入すると思っておりますが、利用者も増えると思っております。(30歳代女性)

堆肥化を希望する人たちも多いようですが、しっかり市民が分別できるか疑問です。回収後の手間や、施設の維持にもコストがかか

と思います。でき上がった堆肥を、実際に農家の人が使ってくれるのでしょうか。重金属の混入や成分の保障にも、問題があると思います。(60歳代女性)

市は、農業の街である。堆肥を増産し、有機農業を確立すべきである。生ごみはもちろん、公園の草なども、大いに利用してほしい。農家自体、堆肥による有機農業に意を注ぎ、迷うことなく市全体で推進してほしい。(70歳代男性)

私は農業を営んでおります。生ごみコンポストは、作物に対してリスクが高すぎ、肥料として絶対に使用はしません。(50歳代男性)

岩見沢市でも、生ごみを分別収集し、堆肥化する方向にしてください。生ごみを、資源として土に返すようにすると、良いと思います。(60歳代性別未記入)

【分別・収集】

ごみ処理の基本理念である自覚と責任を明確にするため、ごみの収集をステーション方式から、各戸別収集にすること。収集の手間がかかるが、これによる有料化は、やむを得ない。ペットボトルなどの資源物の分別収集については、現行のリサイクルステーション方式で行う。(60歳代性別未記入)

燃えないごみの中にプラを入れるのは、本当に心苦しかったです。子どもでさえ、岩見沢はごみに、いい加減だと言っています。あと、ダンボールで出している人も多いようですが、きちんと分別などができていないごみは、回収すべきではないと思います。それくらい他市町村では厳しいです。(40歳代女性)

私たちの町会でも、ごみの分別に対して、積極的に行ってありますが、なかなか皆様に伝わらなくて、困っているところであります。実際に分別をしてみると、プラ等を分けてみると、燃えないごみは3分の1以下に、なくなりまます。もう少し、皆に徹底できるようにしたいと思っております。(70歳代性別未記入)

【ごみステーション】

すべてのごみステーションに、リサイクル(資源ごみ)用のかごを設置してほしい。もしくは、曜日ごとに、資源ごみの回収をしてほしい。新聞やダンボールの回収を、市でも行ってほしい。(30歳代男性)

「ごみステーション」に、いつでもごみを入れる家庭があり、カラスに荒らされ、清掃に毎日苦労して

おります。ごみをバラで投げ込みする人、ペットボトル・ジュース缶の中味が少し入っているものをそのまま捨てる人、いろいろなおり、付近の気にする私どもは、引越したいです。(60歳代男性)

一軒家、町内会に入っている方は、ごみステーションなどを見ると、協力しているが、アパートなど、若い人とかは、ひどすぎる。自分の家の近くのごみステーションではなく、通りがかりとか、分別もしない、曜日も関係ない。アパートの家主とか、新しく市民になった人とかに、徹底してください。(50歳代女性)

#### 【事業系ごみ対策】

事業系のごみが無料なのは、いかなものか。(経済活動の中のごみであり、市民の税金を民間の利潤に使っているような感がある)

(40歳代男性)

家庭では、ごみの分別をきちんとしていると思います。飲食業の職場の人々に、ちゃんと説明して、しっかり分別してもらえよう取り組んだら良いと思います。(60歳代女性)

#### 【有料化】

ごみを有料にすると、不法投棄が

多くなる。環境を悪くして、それを回収するのに、また金がかかる。余計なことはしないで、燃やすのが一番。(60歳代男性)

ある程度、時代の流れで、ごみ有料化は、やむを得ないと思う。そうすることにより、ごみを出さない意識、リサイクル、リユースの気持ち、市民に生まれると思う。(40歳代女性)

#### 【市民意識向上】

ごみの問題は、生活していく上で、大変なことで、改めて考えさせられました。莫大な経費がかかっていることに気づかされました。これは、地域はもちろんだと、各自一人ひとりが自覚することが大事だと思います。(60歳代女性)

市民一人ひとりが、ごみを減らすために、リサイクルできるごみを分別して、資源ごみにすることを、積極的にもっと進めるべきだ。有料化により、ごみが減ると思う。(50歳代女性)

#### 【行政、市議会】

まず市役所、ごみ問題について、対応が遅すぎる。他の市町村では、早くに分別をやっているのに、岩見沢市は手をつけなかった

ことが問題なのです。また、市職員一人ひとりの意識改革を進めるべきです。市民の税金で勤務しているということ、自覚を持つことです。また、市内部の縦割行政をなくすことです。最後に、岩見沢市民のために発展することを願います。(60歳代男性)

市民一般の意見も必要ですが、市議会議員を選出して、市政を行っているのだから、議員さんの意見を集約することで良いと思う。他の市町村の取り組みを参考に、行政をやってください。市民にわかりやすい行政をお願いします。(70歳代男性)

#### 【説明会】

もっと説明をわかりやすくし、説明をすべき。各町内会、企業に、早く説明をすべきでないか。(60歳代男性)

説明会は非常に大切です。これにより、細やかな民意を汲み取ってください。今後のために、市役所内での現場に対する管理、監督の強化を要望します。(60歳代男性)

#### 【アンケート】

今回のようなアンケートは、非常に良い。広く、より良い意見を集めて、検討していくことが大事。

(50歳代女性)

このようなアンケートも悪いとは思いますが、この資料そのものが(封書が大きすぎ、ペーパーのサイズとか)、燃えるごみであり、もったいないと思いました。(50歳代女性)

市は、市民説明会やアンケート調査の結果に加えて、コストが安価、全国的な建設実績、故障やトラブルが比較的少ない、発電によるエネルギーの効率的な利用、総合的な環境行政「岩見沢モデル」の理念でもある「後世にツケを残さない、コストの最大限の圧縮」に合致するなどの理由で、中間処理施設は「焼却方式」を選択すべきとの判断に至りました。

今後は、美瑛市、月形町との広域的な処理について協議を進めるとともに、新最終処分場を平成27年4月に供用を開始するため、ごみの減量化を進め、ごみの量を推計し、それを基に施設の適正規模の検討、設計、生活環境影響調査等を実施して、建設事業を進めていきます。

なお、今回行った市民説明会の会議録やアンケート調査の意見などの結果は、市のホームページのほか市役所本庁、北村・栗沢支所、有明交流プラザの情報公開コーナーで閲覧することが出来ます。

# プラスチック製容器包装の分別収集を 12月1日から 全市的に実施します

現在、北村や栗沢町地区の全域など市内の一部の町会(自治会)で取り組んでいるプラスチック製容器包装の分別収集について、ごみの減量化を図るため、12月1日(木)から市内全域で実施します。

## プラスチック製容器包装って何？

プラスチック製の容器や包装で、中身の商品を取り出すなど使った後に不用となるものです。

対象となる商品には目印となる「プラ」マーク(右図参照)が付いています。



## 対象となる主な包装

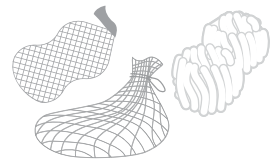
### ラップ類

コンビニ弁当・生鮮品等を包んでいるラップ



### ネット類

ミカン・りんご・玉ねぎ等が入っているネット



その他、ペットボトルのラベルなども対象です。

## 対象となる主な容器

### パック・カップ類

卵・豆腐等のパック、コンビニ弁当等の容器



### チューブ類

マヨネーズ・ケチャップ等のチューブ



### ボトル類

洗剤・シャンプー・ドレッシング等のボトル



### トレイ類

生鮮食品・果物・菓子等のトレイ



その他、レジ袋等の袋や、シャンプーや洗剤等の詰替容器、ペットボトルのふた等も対象です。

## 対象とならないもの ('プラ'マークがついていません)

プラスチック製の  
スプーンやフォークなど



プラスチックでできているものでも、容器・包装として分別収集できないものがあります。今までどおり燃やせないごみとして出してください。

## ▶ 出し方の注意

中身は残さず使いきってから出してください(マヨネーズなどの調味料の残り等)。また、汚れがあれば水でゆすいで出してください

(納豆の容器など汚れが取れない物は、今までどおり燃やせないごみとして出してください)

## ▶ 出し方

場 所...ごみステーションに透明または半透明の袋に入れて出してください

出す日...地域によって違います、「プラスチックの日」に出してください

※なお、プラスチック製容器包装の分別収集に関する詳しいことは、別途お知らせします。

問合せ先 市廃棄物対策課